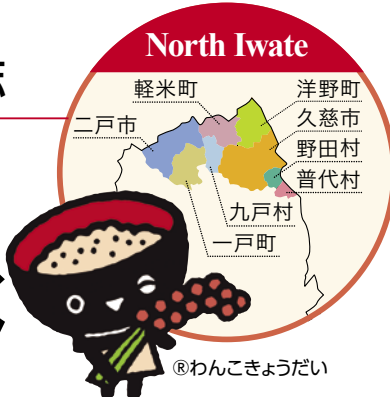


2018 北いわての魅力伝える広報誌

北いわて最前線



県北広域振興局



P.2 特集1

縫製が北いわての基幹産業

「アパレルの聖地」 その実像に迫る



P.4 特集2

暖くなったら外に飛び出そう!

親子で楽しめる お出かけスポット



P.6 県北広域トピックス 2018

ゆたかさ・つながり・ひと
県民の生活を豊かにする。
希望郷いわて

P.8 イベント情報&読者プレゼント

北いわて学生デザイン ファッションショーが 開催されます!



イベント 情報

第5回 北いわて学生デザイン ファッションショーが開催されます!

2018
2.25 [SUN]

場所: 久慈市アンバーホール
12:30 開場 13:00 開演

岩手県北は、国内有数の高品位アパレル産業の集積地域。「北いわてはアパレルの聖地だ」を合言葉に、5回目となる「北いわて学生デザインファッションショー」を開催します。メイド・イン・ジャパンを誇る北いわての縫製会社が団結し、次代のアパレル産業を担う若手を応援します。(写真は昨年の様子)



【主催】一般社団法人北いわてアパレル産業振興会 【共催】岩手県県北広域振興局、久慈市教育委員会、【協力】学校法人文化学園、文化ファッション大学院大学、岩手県美容生活衛生同業組合、専門学校北日本ヘア・スタイリストカレッジ、専門学校盛岡カレッジ、盛岡ヘアメイク専門学校

メイド・イン・ジャパンの ファッションを支える、 北いわての縫製

平成30年2月25日(日)、一般社団法人北いわてアパレル産業振興会主催「第5回北いわて学生デザインファッションショー」を、久慈市アンバーホールにて開催します。

アパレル関係者、縫製の職人、アパレルを目指す学生など例年約800人が参加し、県内外からも注目されるイベントです。

岩手県内の高校、短大、専門、大学生を対象に、ファッションデザインを募集し、応募の中から優秀賞、奨励賞各10点を決定。優秀賞に選ばれたデザイン10点は、北いわての縫製会社が分担して、実際に作品を仕上げます。デザインを基にした服の再現度は、北いわての縫製技術の見せどころです。

入場料
無料!

来てね!



また、特集1で取り上げた「北いわて仕立て屋女子会」の皆さんが、この日のために制作した世界にひとつだけの衣装をお披露目する場もあり、見所が盛りだくさんです。

女子会の講師であり、ショーの審査委員も務める稲荷田征生から「今後は、北いわてのアパレル発のファクトリーブランドを作り出してほしい」と、激励の言葉をいただきました。

このファッションショーは、次代のアパレル産業を担う人材育成のため、北いわて縫製業の団結力をみせる機会でもあります。「個の力で日本」にはなれなくても、地域で力を合わせれば目指すことができる。イベントを通じて、ものづくりの楽しさと、メイド・イン・ジャパンの縫製が結集した、魅力ある地域で働けることを発信していきたい」と、主催者は意気込みを見せています。

学生をはじめ、地域の皆さんにも、縫製に関心を持っていただくることを願っています。ぜひ会場へください。

読者プレゼント | アンケートにお答えいただいた方々の中から、抽選で合計10名様にプレゼント!!



大野木工 ミニトレイセット (クリア)

135mm×220mm 2枚組
おおのキャンパス(洋野町)

自然の温かさを感じる優しい手触りと木目が美しい食器です。木材を強化する手法を木の器では初めて取り入れているため、食器洗浄機にも使用できます。丁寧に手作りされた食器が食卓を明るくします。

応募方法

【送り先】はがき 〒028-8042 久慈市八日町1-1
県北広域振興局「北いわて最前線アンケート」係
FAX 0194-53-1720 電子メール BK0001@pref.iwate.jp
【締切】平成30年3月14日(水) 消印有効

「北いわて最前線」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。今後より一層、誌面を充実させるため、読者の皆様の「声」をお聞かせください。

- 今回の記事に興味を持ったものは何ですか?(番号で回答、複数回答可)
① 特集1 「アパレルの聖地」その実像に迫る
② 特集2 親子で楽しめるお出かけスポット
③ 県北広域トピックス2018
④ イベント情報
- 本紙への御意見・御要望や、今後掲載して欲しい内容がありましたら、御自由にお書きください。
- 県北広域振興局に対する御意見・御要望がありましたら、御自由にお書きください。

※ 回答は、右の二次元バーコードを読み込んで応募フォームからご応募ください。なお、はがき・FAXでもご応募いただけますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をお書きの上、お送りください。



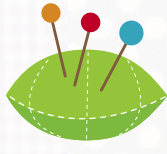
スマートフォン用

岩手県 県北広域振興局全世帯配布広報誌 (平成30年2月発行)

編集・発行 県北広域振興局経営企画部
〒028-8042 岩手県久慈市八日町1-1 TEL: 0194-53-4981代 FAX: 0194-53-1720 E-mail: BK0001@pref.iwate.jp



メイド・イン・北いわての服ができあがるまで



縫製業の未来を担う！ 北いわて仕立て屋女子会

北いわては、技術力の高い多様な縫製業が集積していることから、「アパレルの聖地」と呼ばれています。その一方で、これからは高品質・高付加価値の衣服を作り続けるために必要な人材の確保と育成が課題となっています。

そこで、縫製工場個々の取組のほか、相互に連携し、北いわての縫製業のイメージアップと人材育成の充実を図るため、平成28年度に「北いわて仕立て屋女子会」を結成しました。メン



疑問はメンバー同士で相談して解決



「現代の名工」稲荷田氏の丁寧な指導



アドバイスをし合ってより良い作品を目指す

バーは三戸・久慈地域の16社で構成される「一般社団法人北いわてアパレル産業振興会」会員企業に勤務する5年目から10年目の中堅女子社員です。今年度は、11社から各1名が2期生として参加しています。

活動内容は、服作りのデザイン画やパターン作成等の研修と、研修の会場となった縫製工場の見学です。1期生のテーマは「自分が着てみたい服」でしたが、2期生は「華彩・美

をテーマにした共通コンセプトを新たに設定し、各自でオリジナル服を作っています。

実際に、縫製業で働く女子会メンバーとはいえ、一定の工程を繰り返す工場勤務では、一人で服を作り上げる経験がほとんどありません。そのため、オリジナル服作りは新たな挑戦です。同じテーマでも様々な服が出来上がる魅力や、縫製の面白さを改めて実感することで、創意工夫しながら、応用力を身に付けることを目指します。また、研修で学んだ技術や、メンバー間の交流で得た知識を、職場に持ち帰って社員に還元するなど、縫製業に携わる人材のレベルアップも図っています。

研修会には、学校法人文化学園文化ファッション大学院大学・非常勤講師の稲荷田氏を招き、自主性を尊重した服作りのアドバイスをいただきました。数々の縫製業に関する功績を

称えられ、「卓越した技能者」（現代の名工）として、厚生労働省から表彰された、高い技術を持つ方です。1期・2期の活動を通して、北いわて縫製業の団結を示すことができる取組だと、高い評価もいただいています。最終目標は、平成30年2月25日開催予定の「第5回北いわて学生デザインファッションショー」で、各自制作した服を、自身がモデルとなって着用し、女子会の活動成果として披露することです。

北いわて仕立て屋女子会が、地域全体の縫製技術を高める中心的存在になることが期待されています。特に2期目は、女子会の活動がアパレル関係の広報・新聞に取り上げられたことから全国的にも注目され、北いわてアパレル産業の認知度アップにもつながりました。今後も北いわてが誇る産業として、若者の人材確保・育成の重要な位置付けにある女子会の活動を継続する予定です。

06
縫製ライン1
複数の縫製ラインが稼働。工場内で一貫生産し、品質を維持。

07
縫製ライン2
服作りの決め手となるアイロン工程で立体的な服作りを行う。

08
縫製ライン3
品質安定のため最新鋭縫製機器を使うことで、効率的に作業。

ポイント
手早く丁寧、正確な作業はプロの技！

09
製品
細やかな部分まで手をかけて作られた高級ブランドの婦人服

10
出荷の準備
最終の検品を経て、ビニール掛け、ハンガーのまま出荷。

ポイント
最後までシワを一切作らずに搬送できる！

01
生地試験室
縫製に入る前段階で、生地の特性を知るために行う収縮試験。

ポイント
実は生地の色によって収縮率が違う！

02
スポンジング
反物をスポンジング機にかけて、蒸気と熱を加えて素材本来の風合いをたす。

ポイント
巻かれて引っ張られている生地を延ばすことで、繊維の歪みが修正される！

03
3D CAD
PCソフトの3D CADで工業用パターンを作り、マーキング。
※3D CADコンピュータによる3次元の立体設計支援ツール

ポイント
立体的に設計できるため、完成イメージがわかりやすい！

04
延反
全自動無人延反機で生地を延ばし、裁断するために重ねる。

05
裁断
最新鋭の縫製機器 ※CAM CADデータを元に、コンピュータを用いて製品の裁断を行う機械

ポイント
1枚の布から無駄なく裁断できる！

特集1

縫製が北いわての基幹産業

「アパレルの聖地」 その実像に迫る

私たちが暮らす北いわてには盛んな産業がいくつもありますが、その中でも主要産業のひとつとして位置づけられるのが、「縫製業」です。北いわての縫製業は、その特徴から、「アパレルの聖地」と評され、日本国内の大手アパレルメーカーに留まらず、海外の有名ブランドからも注目を集めています。今回は、北いわてが世界に誇る縫製業に迫ります。



岩手モリヤ株式会社代表取締役社長・森奥信孝さん

北いわてには、数多くの縫製業が集積しています。立地企業数は26社もあり、そこで働く人達は12000人を超えます。ひとつの地域の中に、これだけの企業が集積していることは、製造工場の海外移転が主流となっている昨今の日本の情勢を踏まえれば、全国的に見ても珍しいと言えます。

しかし、特筆すべきはその数だけではありません。扱っている衣服の種類が豊富です。企業ごとに扱っている製品は異なり、高級婦人服から、紳士服、ブラックフォーマル、子供服、トレーニングウェア、作業着、さらには柔道着や水着など、実に多種多様です。

同一地域に縫製業が集積し、かつ、縫製できる衣服の種類が豊富であること。これが、北いわての縫製業が「アパレルの聖地」として、全国・世界のアパレル関係者から注目を集める理由のひとつです。

さらに、今回は北いわてが「アパレルの聖地」と呼ばれる理由の理由を探るべく、久慈市夏井町にある高級婦人服縫製の岩手モリヤ(株)を訪れました。

衣服の製作は、メーカーから送

られる仕様書と、工場独自で行う生地試験のデータをもとに、素材に合わせたパターン（型紙）の作成から始まり、3D CADによる設計のデータ化、CAMによる自動裁断を行います。岩手モリヤ(株)の森奥信孝代表取締役社長によると、最先端の縫製機器を積極的に導入することで、品質の安定化と生産性の向上を図っているとのこと。衣服の質を大きく左右する製作工程の根幹部分を機械で行うことで、安定的かつ効率的なものがづくりを実現しています。

森奥社長は、北いわてでは作業の機械化による生産性の向上を図る一方、人材育成にも力を入れていると言います。より質の高い衣服の製造には、機械では対応できない繊細な縫製技術が必要不可欠です。そのため、職場では国家検定の資格が取得しやすい環境も整えられています。そして、この北

いわての縫製技術を支えているのは、従業員の約9割を占める地元女性たちです。

最先端の機器と、人の手だからできる細やかな縫製が織り成す高品質な衣服。この技術力の高さこそが、北いわてが「アパレルの聖地」と呼ばれるもうひとつの理由です。

「全国的に縫製業が減少する中で、北いわては地域の基幹産業として存在感を保っています。それは、確かな国産品を作るといふ信頼を得てきたことと、地元採用の人材による『メイド・イン・北いわて』が実現しているからです。」と話す森奥社長。

「アパレルの聖地」として、日本国内外から注目を集める北いわて。それを支えているのは、ほかの誰でもない地元北いわての人達です。

世界に誇る最高品質 「メイド・イン・北いわて」

Interview インタビュー

北いわて仕立て屋女子会 第2期生リーダー
早坂貞子さん
(一戸ファッションセンター勤務)



仕立て屋女子会に参加したことで、自分で一から服を作るという経験ができました。デザイン画を描き、生地を探し、パターンを作ることも初めてのことで、試行錯誤でした。今期の参加メンバー11名は、会社の枠を超えて、それぞれの知識を持ち寄り、得意な作業を教え合ったり、意見交換などもしています。普段、職場で作る服とは全く違うものを作るので、本業との合間に制作することが一番大変ですが、やりがいはあります。最終目標はショーに出ることなので、初めての作品をしっかりと完成させたいです。

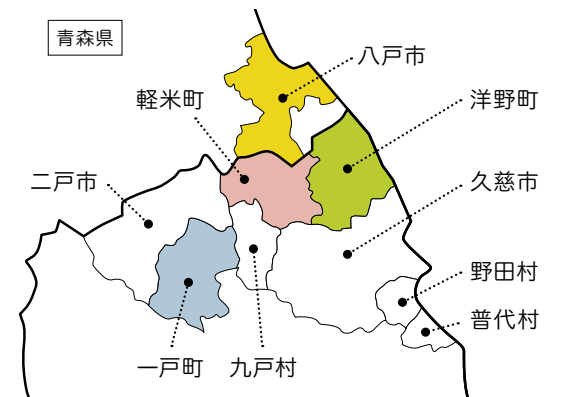


遊びに行こうよ!

特集2

暖かくなったら外に飛び出そう! 親子で楽しめるお出かけスポット

春になったら楽しくお出かけしたいですね。そこで親子で遊ぶのにピッタリな、春のお出かけ＆イベント情報をご紹介します。数ある中から、1日中のんびり過ごせるスポット4カ所を紹介します。北いわての隣に位置する青森県八戸市まで足を伸ばしてみました。これを機会にぜひ遊びに行ってみましょう。



美しい水と森の公園を散策しよう
豊かな水をたたえた雪谷川ダムと森林の美しい景観を生かしてつくられた、水と森の公園です。一面に広がる約15万本のチューリップは、4月下旬から5月中旬にかけてが見頃です。高さ16mの風車展望台や、ダム湖にかかる全長154メートルの吊り橋「メモリアルブリッジ」からの眺めも絶景。5月3日は、「森と水とチューリップフェスティバル」が開催され、ステージイベントや臨時売店が多数出店するなど、お楽しみ盛りだくさんな一日です。アジサイが咲き誇る夏は、爽やかな森の空気に包まれながらのキャンプもおおすすめです。キャンピング棟やメ



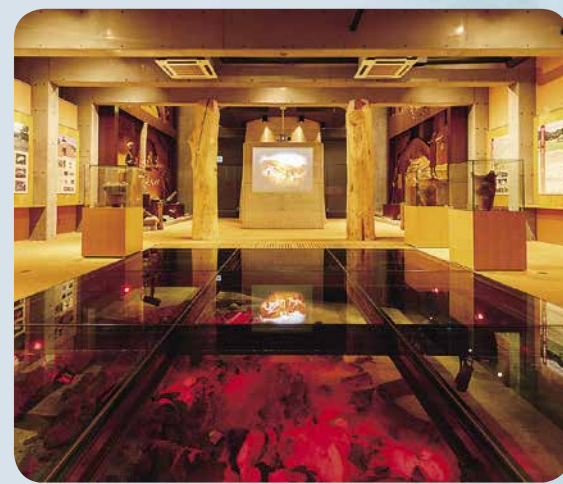
自然に囲まれた大きなステージ!

ニーサイドハウス(大型東屋)があります。レストラン・フェアリでは、軽米に古くから自生する果実、さるなしを使ったソフトクリームもあります。

野外ステージでは郷土芸能や音楽イベントなど、様々な出し物で盛り上げられます。



**雪谷川ダム
フォリストパーク・軽米**
九戸郡軽米町大字小軽米 20-3-1
TEL 0195-45-2444 (総合案内施設)
9:00~17:00 (4/1~10/31、売店・レストランは4月下旬より、水曜日から日曜日のみ営業)
月曜日から日曜日の翌日
入園無料 (園内有料施設あり)



国重要文化財「鼻曲り土面」をかたどった「はなまがりクッキー」。御所野縄文博物館のミュージアムショップで販売。



クルミの樹皮つてやわらかい!

御所野縄文遺跡は、国指定史跡です。北海道・北東北にある縄文遺跡群の構成資産のひとつとして、世界遺産登録を目指しています。駐車場から「きぎきのつりはし」をわたると、その先は縄文の世界が広がります。復元された竪穴住居や、遺跡の周りに広がる森は、4千年の時を超えた風景です。芝生の広場は、ピクニックやボール遊びなど自由に

御所野縄文公園は、国指定史跡です。北海道・北東北にある縄文遺跡群の構成資産のひとつとして、世界遺産登録を目指しています。駐車場から「きぎきのつりはし」をわたると、その先は縄文の世界が広がります。復元された竪穴住居や、遺跡の周りに広がる森は、4千年の時を超えた風景です。芝生の広場は、ピクニックやボール遊びなど自由に

御所野縄文公園

御所野縄文公園
二戸郡一戸町岩館字御所野2
TEL 0195-32-2652
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合、その翌日)
祝日の翌日
博物館展示室入場料
一般 300円
高・大学生 200円
小・中学生 150円



手軽で安全にできる竹トンボづくり。出来上がった竹とんぼは、外で思い切り飛ばしてみよう。

フリーマーケットで掘り出し物をゲット!



**一人一芸
ものづくりの里で、
体験を楽しもう**
総面積27ヘクタールの広大な敷地に、道の駅、木工や、さき織りなどの工房、宿泊施設、各種のお風呂がそろった入浴施設、本州一大きなパークゴルフ場など計18の施設があり、いろ

おおのキャンパス

いろいろな過ごし方ができる場所です。子どもたちにおすすめるのは、木工や、さき織り、陶芸などの体験です。竹トンボやキーホルダー、コースター、茶碗や湯のみづくりなど、さまざまなメニューがあります。ものづくりの技と心を持つ大野の職人さんが、ていねいに教えてくれます。夜には、ひろのまきば天文台で星空観察もできます。灯りのない牧場の上にもたたく星は、ひととき輝いて見えるはず。毎年5月3日~5日は、一人一芸交流祭が開催され、多くの人でにぎわいます。



おおのキャンパス
九戸郡洋野町大野 58-12-30
TEL 0194-77-3202
9:00~17:00
12/31、1/1 (施設により異なる)
入園無料 (園内有料施設あり)



子どもに人気のボールのボールには、原産材にこだわった7種類の天然木を使用しています。



こどもはっち
青森県八戸市三日町 11-1
(八戸ポータルミュージアムはっち4F)
TEL 0178-22-5822
9:30~16:30
第2火曜、12/29~1/1
1人100円 (乳幼児は無料)



こどもはっち

親子で楽しむ豊かな時間
木のぬくもりたっぷりのスペースには、子どもが夢中になる遊具がいっぱいあり、ごっこ遊びやむかし遊びを楽しめます。県外の人も気軽に利用が可能です。昼食持参で一日楽しむ親子もたくさんいます。はいはいの赤ちゃん専用スペースや、広々とした授乳室や子どもトイレ、パパも利用できる授乳室の中に、おむつ交換台(※)も揃っているのが安心です。たくさん親子に利用してもらいたいイベントも数多く開催しています。恒例の誕生会では、常駐している保育士や幼稚園教諭の資格を持つスタッフと一緒に、手遊びやパネルシアターを楽しみます。4月はこどもはっちスプリングコンサート、5月は親子運動会、6月は子ども服のおさがり掘り出し市(いずれも会場ははっち1階はっちひろば)など大きなイベントもあります。友達もたくさんできますよ。

二戸地域のブランド果物の魅力をPR

県北広域振興局では、二戸地域のブランド果物を消費者に「知ってもらい、買ってもらい、来てもらう」取組として、平成28年度から「カシオペア果物振興プロジェクト事業」を実施しています。今年度は、さくらんぼの収穫体験、ブランドりんご「冬恋」の収穫体験、消費者と販売関係者に向けた紹介DVDの製作、首都圏等での販売促進活動などを行いました。「冬恋」は、りんご品種「はるか」の中でも糖度、蜜入りの基準を満たしたものです。12月上旬の仙台市、盛岡市、東京都での試食イベントでは、多くの人に甘さと歯応えを体感してもらいました。PRキャラクター「いわてブランド果物きょうだい」も誕生し、二戸地域の果物の魅力をさらにアピールしていきます。

お問い合わせ先
■県北広域振興局 二戸農林振興センター農業振興課 TEL 0195-23-9203



東京・紀ノ国屋インターナショナル店にて「冬恋」の試食・販売を行いました



キャラクターを活用してブランド果物の認知度を高めま

野田村産やまぶどう豊作！新酒のワイン登場間近！

野田村の特産品である、やまぶどうワインの熟成が進んでいます。北三陸の海の幸に合うワインをつくる「涼海の丘ワイナリー醸造所」の坂下誠所長によると、平成29年は、野田村産やまぶどうの当たり年とのこと。夏が涼しいとやまぶどうは、品質が良好になるそうです。「野田村山ぶどう生産組合」の農家11戸では、手入れの際に枝を長く残す「長梢せん定」にも取り組み、ぶどうを多く実らせることができました。

村内のやまぶどう生産量は44.1t。そのうちワインの原料に使われたのは21tで前年の1.5倍でした。そのほかのやまぶどうも野田村特産のジュースやお菓子などの製品に使われます。遅摘みされ、糖度が高くなったやまぶどう。ワインに仕上がると、昨年以上の香りが期待できるとのこと。新酒「紫雫 マリンルージュ2017」(赤・ロゼ)がまもなく登場します。

お問い合わせ先
■久慈農業改良普及センター TEL 0194-53-4989



涼海の丘ワイナリー醸造所 坂下 誠 所長

粒ぞろいのやまぶどうが実りました



手入れの行き届いたやまぶどう畑

認知症を正しく理解するセミナーを開催

県北地域の高齢者は約40,000人で、そのうち認知症を患っている方は、約5,000人と全体の12%を占めています。県北広域振興局では、認知症の方やその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指して、関係機関や団体と協働し、認知症の正しい知識と理解を促すための取組を行っています。平成29年11月18日には、二戸市で「認知症講演会・実践報告会」を実施。専門医の講演と看護師の実践報告により、参加者は認知症の分類や、適切な対応の必要性を学ぶことができました。11月25日には、普代村で「2017世界アルツハイマーデー記念講演会」を開催。認知症とはどんな病気か、認知症の方へどう接するかを分かりやすく伝えるための寸劇や、医師による講演が行われました。

お問い合わせ先
■県北広域振興局 保健福祉環境部 企画管理課 TEL 0194-53-4987
■県北広域振興局 保健福祉環境部 二戸保健福祉環境センター管理課 TEL 0195-23-9202



もりもり会 認知症寸劇「野菊ばあちゃん物語」(普代村)



認知症についての講演会(二戸市)



シルバーリハビリ体操を行うみなさん(普代村)

防災への願いを込めて、防潮林の苗を植樹

野田村前浜地区の防潮林は、東日本大震災津波で数本のクロマツを残し流失し、防災機能を失いました。県北広域振興局が平成24年度から進めてきた同地区の防潮堤復旧工事が、平成29年度中に完成見込みとなったことから、平成29年10月22日、地元の児童・生徒、地域住民約100人が参加して、防潮林の再生に向けて記念植樹を行いました。参加者は「元気に成長して村を守ってほしい」と願いを込めながら、クロマツの苗1,000本を植樹。今後3年間で2万9,700本の植栽を目指します。植樹した苗木が健全に育ち、再び防潮林として機能を発揮できるよう、地域住民の皆さんの協力を得ながら適切に維持管理を行っていきます。

お問い合わせ先
■県北広域振興局 林務部森林保全課 TEL 0194-53-4984



防潮林の再生を願い、多くの人が集まりました



被災翌日(平成23年3月12日)の野田村前浜地区



クロマツの苗を植える参加者

震災復興・台風第10号災害復旧の工事を進めています

現在、主要地方道野田山形線(事業延長1,500m)の整備が進んでおり、平成30年3月に国道45号~村道高校通り線の600mが開通予定です。この道路は、全線が浸水区域外となり、防災機能が強化されるとともに、野田村の新町地区や、現在工事中の三陸沿岸道路野田IC(仮称)につながるなど、人の移動や物流の利便性が向上します。

平成28年8月30日発災の台風第10号災害では、災害箇所が道路や河川など139か所に及び、県北広域振興局では復旧に向けた工事を進めています。復旧工事発注の進捗率は、平成29年12月末時点で82%。平成30年度までにすべての復旧工事の完了を目指します。進捗状況は、県のホームページ等で確認できます。

お問い合わせ先
■県北広域振興局 土木部道路整備課、土木技術企画グループ TEL 0194-53-4990



まもなく開通予定の主要地方道野田山形線



着実に進んでいる河川災害復旧工事【二級河川二又川閣下の橋上地区(久慈市)】
※写真上:被災直後(H28.9.2撮影)、写真下:施工状況(H30.1.12撮影)

ゆたかさ・つながり・ひと
県民の生活を豊かにする。希望郷いわて

県北広域トピックス2018

若手県が進める「いわて県民計画」第3期アクションプランに基づいて、東日本大震災津波からの復興と、北いわての地域資源を生かし、県民の「仕事」「暮らし」、「学び・こころ」を守る施策を進めています。